

2018年度教育研究活動報告用紙(様式9(2018))

氏名 中島 俊介	職名 教授	学位 博士(学術)
----------	-------	-----------

研究分野	研究内容のキーワード
心理学	メンタルヘルス 心理教育 地域精神保健

研究課題
平和・文化的活動における学生のメンタルヘルス向上効果の心理教育モデルの構築

担当授業科目
発達心理学(前期)(看護科) 教育心理学(前期)(教職課程全科) 保育実践演習(前・後期)(福祉科) 行動科学(前期)(保健福祉学部・人文学部) 発達臨床心理学(後期)(福祉科) 保育者論(後期)(福祉科) 保育内容(人間関係)(後期)(福祉科) ・ 保育の心理学1(後期)(福祉科)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【発達心理学】 授業学生への講義内容に対する興味と集中力をいかに高めて持続させるかについて努力したが毎年苦慮する。今年度は「質疑を活発にする」に取り組んだが、なかなか困難であった。映像を使った講義は成果があった。講義中にできるだけ発問をして意欲を喚起した。
授業科目名【教育心理学】 これだけは当該科目では知ってほしいことを板書した。また教員採用試験合格を意識して、必ず「試験問題風の課題」をテーマにするように心がけた。期末の定期試験の内容も採用試験を意識した内容とした。
授業科目名【行動科学】 毎年の課題であるが人数が多く。いかに講義中の学生の集中力が途切れないようにするかに留意した。講義だけでは集中に限界があるので映像を必ず入れるようにした。課題を与えて机間巡視を時々試みた。次年度この点にさらに工夫を加えたい。
授業科目名【発達臨床心理学】 アンケートの結果から「授業の課題以外の取り組みについて何をしたいかわからなかった」の意見がみられた。授業の内容と準備に精力を費やした今年度であったが次年度の課題である。学生のコメントを必ず入れるように工夫したのは高評価であった。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本教育心理学会 日本人間性心理学会 日本心理学会		1982年4月～現在に至る 1998年4月～現在に至る 2018年4月～現在に至る

2018年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) 平和・文化的活動による学生 のメンタルヘルス向上 効果の研究5	共著	2018年9月	日本人間性心理学会 第37回大会	① 平和活動の継続的実践による 心理・社会的変容を質的研究 により明らかにした。 ② 共著者名 福井完児 ③ 第36回 日本人間性心理学会 大会論文集所収

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

なし			
----	--	--	--

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市人権施策審議会委員	委員長	2017年～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
なし